



第12回全国礼拝音楽研修会 (第2信)

主の御名を賛美します。

第1信(11/25 配信)では、2016年5月4-6日開催の全国礼拝音楽研修会研修会プログラム紹介、申込み方法についてご案内をいたしました。今回は2日目の「分科会」、「実技分団」の内容と講師紹介をいたします。参加者は「分科会」か「実技分団」のいずれかを選び、「分科会」を選択された方は下の表左欄から2つを選択し、午前の一つ、午後に別の研修を受けることができます。「実技分団」は午前と午後、同じコースを集中して実践していきます。音楽奉仕者はもちろんのこと、全信徒が参加できる分科会が充実しています。来年度始まってすぐの研修会ですので、今から来年度の教会の計画の中に入れご検討くださり、参加者を送り出していただきたいと思います。第3信は1/20、実技分団課題紹介をいたします。

分科会

- ① 礼拝ってなに? (朴思郁/宣教研究所所長)
- ② 子どもとともに礼拝 (矢野由美/千葉)
- ③ 教会学校と礼拝 (榎本譲/宣教部)
- ④ ピアノをはじめてみよう (美登恭子/高須)
- ⑤ 創作賛美歌 (坂本献/所沢)
- ⑥ 青少年の賛美と集会 (山下真実/洋光台)
- ⑦ 日本語以外のことばで礼拝する教会
(井形英絵/宣教部)
- ⑧ 司式 (川平朝清/青葉)
- ⑨ 今へいわをつくる礼拝とは (藤澤一清/
花小金井)

実技分団

- Ⓐ ピアノ基礎 (小松澤恵/大久保)
- Ⓑ ピアノ応用 (岩下星南/姪浜)
- Ⓒ 電子オルガン
(堀井美和子/インマヌエル高津キリスト教会)
- Ⓓ リードオルガン (伊藤園子/目白ヶ丘)
- Ⓔ 聖歌隊 (菊地るみ子/大井)
- Ⓕ 指揮 (山中臨在/浦和)
- Ⓖ ギター (西野修平/北九州)
- Ⓗ キッズ (嘉手苅夏希/長崎)

***** 《分科会》 *****

① 礼拝ってなに?

発題：朴思郁 (ぱく・さうく)

宣教研究所所長、西川口キリスト教会協力牧師

【内容】礼拝は、神にかたどって造られた私たち人間の至上の義務であり恵みです。また、神に呼び集められた者の群れである教会の最も重要な使命です。今回は、イエスとサマリアの女と



の出会いを通して、「神が求めておられる礼拝」について学びましょう。とりわけ「神は霊である。だから神を礼拝する者は、霊と真理をもって礼拝しなければならない」(ヨハネ4:24)という言葉から、共に話し合いながら、今日における礼拝の意味、礼拝者の持つべき姿勢について、学びを深めていきたいと願っています。

② 子どもとともになる礼拝

発題：矢野由美（やの・ゆみ）

菊地シオンキリスト教会教育主事を経て、現在千葉バプテスト教会教育主事、『聖書教育』編集委員。

【内容】 全年齢層の礼拝は、すべての人に開かれている礼拝です。礼拝者の一人である子どもと共に捧げる礼拝、「子どもと共なる礼拝」とも言われます。子どもから大人まで様々な年齢層の人々で成り立っている各教会の礼拝の様子を紹介し合い、課題を出し分かち合いましょう。さらに「子どもと共なる礼拝とは？」について共に考えていきませんか。



③ 教会学校と礼拝

発題：榎本譲（えのもと・ゆずる）

教会教育室・青少年伝道室室長、『聖書教育』編集人。浦和教会協力牧師。

【内容】 毎週の主日礼拝（式）と教会学校は、ともに「礼拝」の時間です。しかし、その二つは、それぞれ違った要素や目標を持っているとも言えます。「会衆がみな心をつににする方向」と「自分の固定観念を壊して多様さに気づく方向」と考えてみましょう。バプテスト教会をかたちづくる上で、その両方が大事になると思いませんか。



④ ピアノをはじめてみよう

講師：美登恭子（みと・きょうこ）

連盟内の諸集会でのピアニスト、礼拝音楽研修会等でピアノクラス講師として奉仕。

「新生讃美歌のやさしい伴奏譜」を編曲。日本バプテスト高須キリスト教会員。

【内容】 「賛美歌のやさしい楽譜があれば、いつか奏楽奉仕ができるかも…」と思われる方や、「いつか奏楽者が育ってほしい」と祈られている方もおられると思います。

まずは、「やさしい伴奏譜」を使って練習を始めてみませんか。右手はメロディーのみ、左手は簡単な伴奏にして一緒に楽しく始めてみましょう。



⑤ 創作賛美歌

講師：坂本 献（さかもと・ささぐ）

所沢教会牧師、新生讃美歌評価検討委員。ドラムを演奏する「ドラ牧師」としても親しまれている。

【内容】 賛美歌はキリスト教会の誕生以来、幾万の歌が生まれ、歌い継がれてきました。

賛美歌の背後にある信仰者の祈りや感動、喜びや苦難、絶望と希望などが時代と場所を越え、言葉として共有されています。そして今、新たな課題や発見と共に新しい賛美歌が必要です。この分科会

では賛美歌の言葉の吟味や用い方について、また、今後必要な賛美歌創作を考えます。



⑥ 青少年の賛美と集会

発題：山下真実（やました・まこと）

ミッションスクール横須賀学院小学校専任教諭を経て、東京基督教大学神学部卒業、現在同大学院にて賛美歌学を専門に研究中。4月より常盤台バプテスト教会青少年担当牧師。洋光台教会員。



【内容】最近、ユースが企画する「賛美集会」という言葉をよく目にします。「礼拝」ではなく「賛美集会」。なぜそのように言うのでしょうか。そこには、ユースが求める礼拝の形、賛美の在り方が表れているように思います。様々な事例を見ながら、「賛美集会」とは何か、ユースの賛美と礼拝について、共に考える時をもちたいと思います

⑦ 日本語以外のことばで礼拝する教会

発題：井形英絵（いがた・はなえ）

南光台キリスト教会牧師(98～15年)。15年度より宣教部国外伝道室長/国内伝道室補佐。ふじみ野教会員。



【内容】連盟に加盟する教会には日本語以外の言葉で礼拝をささげる教会があります。どんな賛美で礼拝をささげているのでしょうか。また、最近では日本語で礼拝する教会に様々な国から礼拝者が与えられ、共にささげる礼拝の試みが各地で続けられています。この分科会では、賛美を通して出会い分かち合う場となることを願っています。

⑧ 司式

講師：川平朝清（かびら・ちようせい）

琉球放送常務、沖縄放送協会会長を経て、NHK 経営主幹を最後に退職、現在、昭和女子大学教授名誉理事、名誉教授。（財）日本聖書協会理事。青葉キリスト教会員。



【内容】「万物の主である神をあがめ、賛美と栄光を帰し、神に従い、ゆだねる生活が私たちの信仰です。この中心が主日礼拝です。」『教会員手帳』。司会・司式はともすれば事務的に行われる傾向があります。この分科会では礼拝が奉仕（英語ではともにサービス）に連なるようにするための道とともに考え、分かち合います。※所属教会の週報をあらかじめ提出してください。

⑨ 今へいわをつくる礼拝とは

発題：藤澤一清（ふじさわ・かずきよ）

花小金井教会員、日韓在日連帯特別委員会協力委員、憲法アクション担当者委員長、東京バプテスト神学校新約聖書学担当。



【内容】神は、さまざまな問題に直面している現代社会にあって、私たちキリスト者がどう歩むかを日々問うておられます。毎週ささげる私たちの礼拝が自明化していることを問いながら、神と人、人と人との和解の福音を聞き、世に派遣されていることを、改めて考えてみましょう。

**** 《実技分団》 **** 課題は第3信（1/20）でご案内します。

① ピアノ基礎

講師：小松澤恵（こまつざわ・めぐみ）

東京バプテスト神学校教会音楽科教師、ユーオーディアアカデミー講師。連盟教会音楽専門委員。大久保バプテスト教会音楽主事。各地の教会音楽研修会の講師を務める。

【内容】①礼拝における会衆賛美の働きとはどのようなものであるか、という根本を問い直しつつ、その中で会衆賛美に仕える奏楽者の役割について。②より豊かな会衆賛美のために、ピアノ奏楽者としてどのように支え、仕えることができるのか。やさしく弾くアイデアや実際にアレンジの幅を広げていきます。③祈りと励まし合いのネットワークを作り。



② ピアノ応用

講師：岩下星南（いわした・せな）

西南学院中学校高等学校音楽科常勤講師。奏楽者研修会等で賛美歌のピアノアレンジの講師を務める。姪浜教会員。

【内容】ピアノ奏楽者として礼拝で使用できる賛美歌のピアノアレンジを学びます。礼拝における奏楽者としての心構えをベースに置きつつ、礼拝全体の流れから見た奏楽曲の選曲や会衆賛美を支えるアレンジのアイデアをお伝えできればと思います。いつも賛美歌をピアノでアレンジして弾いているけれど、ワンパターンになってしまう人、コード譜のアレンジ方法を知りたい人など大歓迎です。



③ 電子オルガン

講師：堀井美和子（ほりい・みわこ）

青山学院大学オルガニスト、東京ユニオンチャーチオルガニスト、日本オルガニスト協会会員、日本オルガン研究会会員、各地の教会でオルガン講師を務める。相模中央キリスト教会オルガン奏楽者指導、インマヌエル高津キリスト教会員。

【内容】①オルガンの初歩：ストップの種類・選び方・組み合わせの仕方、鍵盤のタッチ、賛美歌奏法などについて学びます。②礼拝におけるオルガニストの役割について考えます。③今さら聞けないオルガンについての素朴な疑問にお答えします。又、奏楽についての悩みなどを出し合い、分かち合います。



④ リードオルガン

講師：伊藤園子（いとう・そのこ）

リードオルガン演奏で幅広く用いられ、リードオルガンハルモニュームの修理、相談にも携わる。日本バプテストキリスト教目白ヶ丘教会オルガニスト。賛美歌検討委員。

【内容】足踏みで風を起こしてリードを鳴らす楽器“リードオルガン”の音を出す仕組みを知り、どのようにしたら美しい音が出せるか、足踏みと奏法を学びます。礼拝での賛美歌の弾き方・奏楽曲の選び方等を学び合います。音が出ない・足がギシギシいうなどの簡単なトラブルの解決法



も学びます。

⑤ 聖歌隊

講師：菊地るみ子（きくち・るみこ）

大井バプテスト教会音楽主事、東京バプテスト神学校教会音楽科講師、同 TBTS クワイヤ指揮者。ハンドベルソロ演奏者。教会音楽研修会の講師として幅広く用いられている。

【内容】イエスさまにあるお互いの「違い」を喜び、教会形成における聖歌隊の働き、目的を理解し、聖歌隊を通し、礼拝をたて上げる豊かさをご一緒に分かち合います。また賛美歌の「歌詞」を大切にし、伝える技術を磨きたいと願います。



⑥ 指揮

講師：山中臨在（やまなか・ともなり）

ノーステキサス日本語バプテスト教会音楽牧師（07～10年）。浦和バプテスト教会牧師（10年～）。各地の音楽研修会や、礼拝音楽研修会の「指揮」分科会講師を務める。

【内容】指揮法基礎の理論と実践を学びます。指揮の基本的パターンを習得し、また礼拝における指揮の目的や指揮者の役割と働きについて考えます。また、礼拝で指揮を実際になさっている方々から、その際に課題としてもおられることなどを聞き、その対処方法についても考えていきます。



⑦ ギター

講師：西野修平（にしの・しゅうへい）

綾塚ロッキー氏とアコースティックギター・デュオ「アサナギ」を結成（07年）活動し、また、ソロで、教会、病院、福祉施設でのコンサートを行っている。北九州キリスト教会員。

【内容】アコースティックギター中心です。弾き始めて間もない方、長く弾いている方、共に同じ賛美の曲（曲は未定）を練習していく中で、それぞれの段階で必要なテクニックの習得を目指します。メロディーの弾き方、アルペジオ、コードストローク、アンサンブル、賛美歌にコードを付けるための音楽理論等がその主な内容です。



⑧ キッズ

講師：嘉手苺夏希（かでかる・なつき）

長崎県の小学校の音楽科非常勤講師を経て、現在、長崎バプテスト教会音楽主事。第11回礼拝音楽研修会で「子どもの賛美」の分科会を担当。

【内容】お友だちといっしょに神さまを賛美するって、とっても楽しいね！どうしてだろう？いっしょに遊んで、体いっぱい賛美して、みんなで過ごしながら、神さまを賛美・礼拝することについて考えたり、体験しよう！



第12回全国礼拝音楽研修会プログラム

4日（水）

5日（木）

6日（金）

9:00		朝食	朝食
10:00		朝の礼拝（証しと賛美）	わかちあい （小グループそして全体へ）
		実技分団	
11:00			派遣礼拝
12:00		昼食	※実技分団は1つのみ選択 ※分科会は午前と午後と 2つの分科会选择
13:00		休憩	
14:00	受付	賛美歌 ことばフォーラム	初めての「ことば」のフォーラム
15:00		パネルディスカッションと グループのわかちあい	
16:00	開会礼拝	実技分団	
17:00	基調講演		
	質疑応答		
	分団顔合わせ、分科会紹介		
18:00	夕食	夕食	
19:00	休憩	休憩	
20:00	新生讃美歌を歌おう！	（礼拝のそなえの時） みんなで礼拝をつくろう	← 青少年と子どもと一緒に
21:00	楽しいひととき		←